

JR総連・四茂野修さん『週刊現代』本人訴訟・証人尋問を傍聴

**西岡研介記者・「取材源の特定になる答えない」を連発!**

7月24日、東京地方裁判所で、JR総連・四茂野修さんが闘っている、『週刊現代』による名誉毀損本人訴訟裁判の証人尋問が行われました。今回は、四茂野さん本人と24週にも渡る記事を執筆した西岡研介記者の尋問が行われました。

四茂野さんは、テロリストキャンペーンにより、如何に名誉を傷つけられたのか、その事実を証言し『週刊現代』の記事が果たした役割を暴露しました。

また、西岡記者に対する尋問では、四茂野さんが直接反対尋問を行い、西岡記者が松崎明さんの本人訴訟で提出している『陳述書』の内容について追及しました。しかし、警察庁Aや警視庁Bといわれる人物などについては、「取材源の特定になるので、お答えしかねる」ということを繰り返し、「情報提供を受けただけ」で、「秘密の漏洩だとは思っていない」と核心点をはぐらかす対応に終始しました。

西岡記者の曖昧な証言により、かえって仕組まれたテロリストキャンペーンの実態が明らかになり、『週刊現代』の連載記事が如何に悪意に満ちたものであったのかがハッキリしました。

**舞台裏を暴露した**

**『週刊現代』テロリストキャンペーン連載記事**

**『西岡陳述書』の内容を鋭く追及!**